

## 〔第3号議案〕2007年度活動計画

### 1. 基本方針

昨年末にEU議会は新化学物質規制REACHを採択し、本年6月より施行されます。REACHは、EU域内で使用される全ての化学物質を対象に、生産量に応じて、事業者が安全性評価を行い、EUに登録する新たな化学物質管理制度です。遅くとも11年後までに登録を完了しないとEU域内では、流通できなくなります。既存、新規を問わず全ての化学物質を対象とする制度は、近い将来日本にも影響が及んでいきます。日本においても今後、化学物質をどのように管理するのか、市民として意見を提案する時期を迎えています。

また、現在、国は法案成立時にとり決めた法的な見直し時期に来ている化管法と化審法の見直しのために、産業構造審議会化学・バイオ部会化学物質政策基本問題小委員会と中央環境審議会環境保健部会化学物質環境対策小委員会が合同で委員会を開催し、議論しています。市民代表として、理事長が委員として参加しており、日本の化学物質管理の見直しに意見を述べる機会を与えられています。市民のためにPRTTR制度を有効活用しようと設立したTウオッチとしては、化学物質管理政策の見直しのために、積極的に与えられた機会を利用していきたくと考えています。

こうした国際的な動きの中で、SAICMの「化学物質による健康と環境への影響を最小とする」2020年目標の達成を目指して、海外の市民グループとの意見交換や交流も重要であると認識しており、今年度はEUのREACHの進捗状況の視察を兼ねて、ブリュッセルでのヨーロッパのNGOとの交流調査をおこなうだけでなく、バンコクで開かれるSAICMアジア太平洋フォーラムをきっかけに、東アジアや東南アジアの市民グループとの交流も積極的に取り組んでいきたくと考えています。

その一方で、PRTTR制度の見直し論議の中で、届出情報の公表が検討されていますが、PRTTRデータを市民に判りやすく提供するというTウオッチのウェブサイトについて、より一層の充実を図る本来の活動にも力を注いでいきます。また、活動を支える財政基盤の確立という結成以来の課題についても、成果があがるよう、事務局体制の強化や委託事業の拡大など地道な活動についてもより一層努力していきたくと思います。

本年は、Tウオッチの社会的な役割を認識し、より一層の飛躍できるよう活動に取り組んでいきたくと思います。以下、重点課題と一般課題に分けて活動方針を提起します。

### 2. 重点課題

- ①日本の新たな化学物質政策に市民の意見を反映させる活動に取り組みます。EUのREACHの動向を調査すべく、EUのNGOとの交流調査団を派遣します。SAICM国内実施計画の策定やアジア太平洋地域フォーラムに市民意見を提案し、化学汚染のない地球をめざすために、市民が求める化学物質管理政策を提案する活動を行います。4月から連続して学習、討論会を行い、〇〇には市民提案をまとめて公表します。
- ②PRTTR制度の立法化の経緯に基づき、化学物質排出把握管理促進法の見直し時期にさしかかり、中央環境審議会環境保健部会化学物質環境対策小委員会と産業構造審議会化学・バイオ部会化学物質政策基本問題小委員会と合同会合で、PRTTR制度の見直し作業が行われています。市民代表として理事長が参加しています。今までの活動の中から、市民に役立つよりよいPRTTR制度となるよう、制度改正に積極的に取り組みます。

③ S A I C M国内実施計画や化管法、化審法の見直し論議に市民意見を反映させるために、化学物質問題に取り組んでいる市民団体とともに、3月24日に「新化学物質政策NGOフォーラム」を結成しました。当面、Tウオッチが事務局団体となります。省庁縦割りの化学物質管理を見直すためには、労働団体や消費者団体などより広範囲の市民グループとの連携が必要であり、共同して取り組みを強化していきます。

あわせて、国際的な化学物質管理政策の見直しのために、国際的なNGOとの意見交換、交流の場が必要であり、今年度も引き続き、積極的に国際的な交流の機会を設けていきます。S A I C Mアジア太平洋フォーラムの開催をきっかけに、東アジアや東南アジアの市民団体との交流を強化していきます。

④今年度も引き続き、NPO法人としての財政基盤の確立のための努力が必要です。安定的な収入を得るために、会員の拡大を図ります。また、賛助会員制度を立ち上げ、安定した財政基盤の確立と活動を支える事務局体制の整備に取り組めます。昨年度環境省から調査研究事業を受託しましたが、今年度も引き続き、事業収入の拡大に努めます。

### 3. 活動計画

#### (1) Tウオッチのウェブサイトの充実

①国による第5回のP R T R集計公表を、市民にわかりやすい形に加工し、ウェブサイト等で提供します。データ検索の改定作業に取り組めます。Tウオッチのホームページはエコケミストリー研究会とのリンクを強化し、協力体制は継続して維持していきます。

②市民が日常使用する商品にP R T R対象物質などが含まれているか調べられる商品データベースを作成し、インターネットから検索できるウェブサイトについては、試行段階で足踏みしており、内容の充実を図り、本格的な商品データベースを公表するようにします。

③事業場からの排出データの国際比較ができるようデータ検索の英語化が完了しましたが、Tウオッチのホームページ全体の英語化に向けた作業を引き続き行っていきます。国によるP R T R情報開示にあわせて、内容の改定を行っていきます。

④会員間の情報交換やP R T Rデータについての議論ができるような掲示板を開設しましたが、ほとんど運用できていません。P R T Rデータの二次加工を双方向で実施できるよう会員に周知していきます。

⑤前述した作業を進め、ウェブサイトの更新がはかれるようウェブサイト研究会を毎月開催するとともに、データベース構築など協力してくれるボランティアなど人的資源を確保し、ウェブサイトの運用体制を強化します。

#### (2) 学習会、地域セミナーなど普及啓発活動

①化学物質の環境リスクをどう考えていくのか、P R T R制度の市民的活用に関する普及啓発のために、連続学習会と地域セミナーを開催します。

学習会は①国による集計公表の内容とP R T R制度で見直すべき課題、②G H S制度とP R T Rとの関係、③商品データベース

地域セミナーとして、今年度も広島、静岡、岩手（または秋田）など3か所以上で開催します。

②P R T R情報を活用して、地域で化学物質削減に取り組む市民やNGOを支援します。市民からの相談に応じられるような地域のNGOとの連絡体制を緊密化し、対応できるようにしていきます。

す。P R T Rデータの読み方等について市民が企画した学習会に講師を派遣します。

- ③地域で市民がどのようにP R T Rデータを活用できるのか、モデル地域を定め、その地域の汚染データの検討や対策などについて学習会やワークショップ等を実施し、地域住民と協同したケーススタディと普及啓発活動を行います。

### (3) 調査、研究活動及び政策提言活動

- ①化学物質排出把握管理促進法の施行から7年後というP R T R制度の見直し作業が国の委員会で行なわれていますが、国による届出情報の公表があった場合、市民がどのように利用すべきか、P R T R公表データの使い方について、再度提案し、ブックレット等で紹介します。
- ②ウェブ研究会を継続し、商品データベース検索サイトを充実させていきます。P R T Rの集計データの精度向上や推計方法の精度向上のために調査、研究活動を行います。

### (4) リスクコミュニケーションの実践

P R T Rデータを活用したリスクコミュニケーションを実践します。

企業の工場見学とリスクコミュニケーションの実施方法に関するケーススタディを増やし、よりよい実施方法を提案します。

市民からの要請があれば、そのためのインタープリターやファシリテーターを派遣します。

また、活動の積み重ねの中で、日本の現状に即したリスクコミュニケーションのあり方を研究し、提案していきます。具体的には、地方自治体向けに、自治体担当者、事業者、市民（地域の市民団体・NGO）の三者で取り組むリスクコミュニケーションのモデル事業を提案し、実施していきます。

### (5) 海外NGOとのネットワーク強化

- ①地球規模での有害化学物質削減のため、海外のNGOとのネットワーク化を強化していきます。秋にはEUの新化学物質政策REACH規制やGHS制度の導入実態を把握するために、ブリュッセルに交流調査団を派遣します。また、5月に開催されるSAICMアジア太平洋地域フォーラムをきっかけに、韓国、タイなどP R T R制度が存在し、制度化を検討中のアジア諸国の環境団体等との連携を図り、P R T Rに関するアジアネットワークを追求します。年度内にEUのNGOとの交流調査についての報告会を開催します。
- ②化学物質の表示システムの統一をめざすGHS国連勧告など、国際的な化学物質規制に関する情報収集に取り組み、その成果を学習会等で発表していきます。

### (6) 広報、宣伝、マスコミ対策の強化

- ①安定した財政基盤の確立のため、会員拡大を図ります。また、賛助会員制度の導入を行います。そのため、加入案内用のパンフレットの作成、会報の発行など広報、宣伝活動を強化します。
- ②P R T R制度の普及啓発活動や、Tウオッチの活動をより多くの市民に知ってもらうため、マスコミへの働きかけを強化します。